

事業名	食品の安全・安心推進事業費		調査番号	10
細事業名	食の安全・安心啓発費	財務コード	651505	
担当部課室	県民生活 部 消費生活安全 課 食の安全・食育 担当 (内線)		2272	

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 消費者 その対象をどのような状態にして 消費者が食の選択に資する食品に関する 正確な知識や情報を得ることができる 結果、何に結びつけるのか 食の安全の確保
内容	情報誌「かいじ号」を発行し、食品表示法施行に伴い改正された栄養成分表示の義務化や、食中毒を起こさないポイントなどの情報提供を行う。また、食の安全を推進するイベントについて情報提供する。 平成28年度発行数 17,000部×4回 =68,000部

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	目標	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	51,000	51,000
	実績(見込)	68,000	68,000	68,000	68,000	68,000	51,000	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		538	538	478	478	478	345	345

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	「かいじ号」は、各市町村に配布し、自治会の回覧等で各世帯に周知、情報提供されており、意図した成果をほぼ達成している。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(平成29年度に、発行回数の削減を実施済)
その他	説明	
見直しの必要性	無	平成29年度予算にて見直し済(発行回数の削減)

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。